16環政第534号
平成16年7月22日

原子力委員会委員長 近藤 駿介 殿

愛媛県知事 加戸 守行

伊方3号機におけるウラン・プルトニウム混合酸化物
燃料の採用計画について

このことについては、平成16年5月10日付けで四国電力(株)から本県に対し別添のとおり安全協定に基づく事前了解願いがあり、県としては、伊方原子力発電所環境安全管理委員会を開催するなど、審議・検討してきたところで

す。
貴職におかれては、我が国のエネルギー事情に鑑み、原子力政策における核燃料サイクルの必要性等について、これまでも多様な手段で積極的に広聴広報活動に取り組まれてきたものと承知しておりますが、この度、伊方3号機での標記実施計画の具体化を受けて、本県県議会や上記管理委員会において、必要性・安全性・経済性等の指摘に対する県民への説明が必要との意見が示されております。また、本来、積極的に情報を公開し国民の理解を得るべき原子力政策において、過去に直接処分のコスト試算資料の未公表があったことに、不信の声もあがっております。

つきましては、我が国の原子力政策に責任を有する立場から、説明会などの住民に直接開かれた説明・質疑の場において、核燃料サイクル政策及びその一環であるプルサーマル等の原子力政策の決定について、定量的な比較や判断根拠等を明示した説明を適時行われますよう要請します。